

令和7年度（2025年度）

管理事業名	文化振興事業				総合計画 の体系		大綱 7 都市魅力			
							政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり			
							施策 1 文化の振興			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	22	文化振興費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属	文化スポーツ推進室							

事業の目的と概要

【目的】

市民に文化芸術の鑑賞と発表の場を提供するため、幅広い文化事業を実施する。

【概要】

- ・芸術文化活動と芸術鑑賞の機会を提供するとともに市民参加型の公演等を実施する。
- ・吹田の若い才能を発掘し育成するために若者を対象とした育成型事業を実施する。
- ・市民の創作意欲・技術の向上のため芸術活動を発表する場を提供する。

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
市民劇場等入場者数	人	6,407	6,882	6,783	入場者数
市民文化祭入場者数	人	17,263	17,544	16,189	出演者を含む入場者数 ※令和8年度行政評価から指標を変更
ティーンズクラシック フェスティバル入場者数	人	1,113	1,392	1,811	出演者を含む入場者数
南山田市民ギャラリー来 館者数	人	3,927	3,336	4,258	来館者数

II 活動実績・成果

【成果指標1】市民劇場等入場者数 ・入場者数 6,783人（前年度実績から99人の減） ・文化芸術性の高い様々なジャンルの催しを市民に安価で提供した。 【成果指標2】市民文化祭入場者数 ・入場者数 16,189人（前年度実績から1,355人の減） ・文化芸術に係る市民相互の交流や、伝統文化の継承を促進することを目的として市民文化祭を実施した。 【成果指標3】ティーンズクラシックフェスティバル入場者数 ・入場者数 1,811人（前年度実績から419人の増） ・若者を対象とした普及育成型コンクールを実施し、入賞者のコンサートを行った。また、少年少女合唱団による活動やブラスクリニックを実施した。 【成果指標4】南山田市民ギャラリー来館者数 ・来館者数 4,258人（前年度実績から922人の増） ・寄贈を受けたマンションの1室を美術作品の展示ギャラリーとして開設し、地域の小学校と連携して児童作品の展示をする等の取組等を行った。		
---	--	--

III 課題と今後の取組

今後も市民が文化や芸術に触れる機会を保障できるよう、また若者も文化に親しめるよう事業展開をしていく必要がある。 市民文化祭の実施に当たっては、さらに幅広い市民に参加してもらえる事業となるよう、内容の見直しについて引き続き検討する。 幅広く文化事業を実施し、市民が文化や芸術に身近に触れる機会を提供していく。		
--	--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	2,639	1,624	△1,014
現金預金	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,639	1,624	△1,014
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	25,195	18,674	△6,521
有形固定資産	6,262	6,033	△228	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	6,262	6,033	△228	退職手当引当金	25,195	18,674	△6,521
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	76	76	-	負債の部合計	27,834	20,299	△7,536
インフラ資産	-	-	-	純資産	△15,997	△8,690	7,307
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	25,195	18,674	△6,521
重要物品	5,500	5,500	-	リース債務	-	-	-
図書館資料	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	11,837	11,609	△228
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	11,837	11,609	△228				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	196	96	119	23
国庫支出金(経常費用充当)	533	519	713	193
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	3,080	3,080
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	17,168	17,952	533	△17,419
経常収入 小計(a)	17,897	18,567	4,445	△14,123
経常費用				
給与関係費	29,196	32,670	23,565	△9,105
物件費	47,997	48,338	54,709	6,371
維持補修費	-	-	1,529	1,529
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	269	1,315	1,289	△26
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	228	228	228	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,674	2,639	1,624	△1,014
退職手当引当金繰入額	△1,978	4,067	△5,772	△9,839
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	78,387	89,257	77,172	△12,085
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△60,490	△70,690	△72,728	△2,038
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△60,490	△70,690	△72,728	△2,038
一般財源充当額	63,795	68,481	80,035	11,554
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	3,305	△2,209	7,307	9,516

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	17,897	18,567	4,445	△14,123
行政サービス活動支出	81,692	87,048	84,479	△2,569
行政サービス活動収支差額	△63,795	△68,481	△80,035	△11,554
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△63,795	△68,481	△80,035	△11,554
一般財源充当額	63,795	68,481	80,035	11,554
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特長的な事項

勘定科目等	特長的な事項
【BS】 建物・工作物	南山田市民ギャラリー（建物）減価償却による228千円の減
【PL】 物件費	企業版ふるさと納税を活用したコンサート及びメイシスター開館40周年記念事業の実施等に伴う委託料の増加による6,371千円の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市民1人	コスト 205 円 実績 382,336 円	232 円 384,302 円	200 円 385,999 円

分析内容	給与等の経常費用が減少したため、前年度に比べ市民1人当たりのコストが減少した。
------	---

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	19,266	584	2.80
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	151	-	-
合計	19,417	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		43.2	45.2	47.2	2.0
施設維持補修費比率		-	-	13.4	13.4
経常費用対公共資産比率		686.4	781.6	675.8	△105.8
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.3	0.1	0.2	0.1
一般財源充当比率		78.1	78.7	94.7	16.0